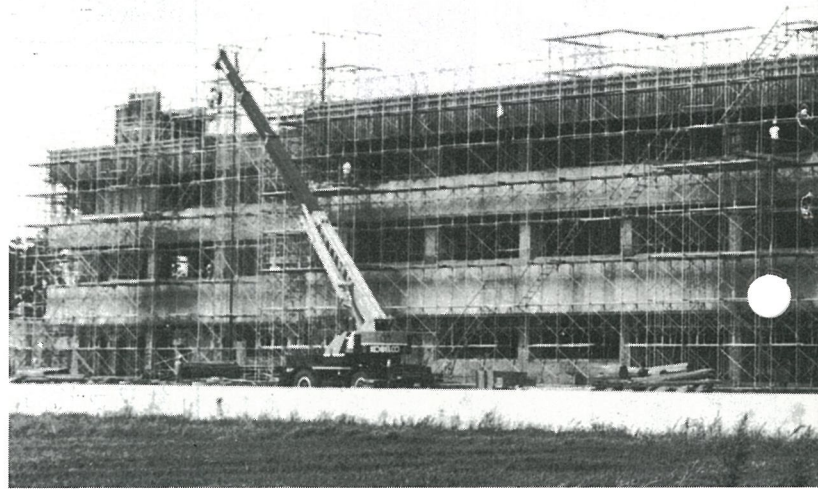
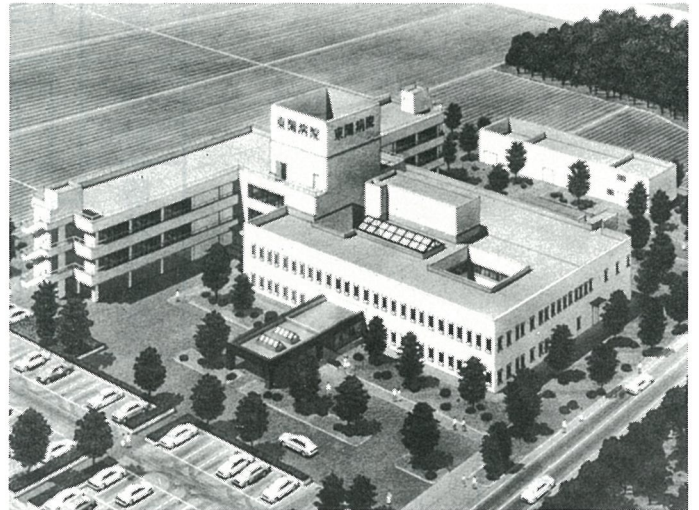


整形外科

新東陽病院の完成予想図



工事も順調に進む新東陽病院

一般病棟並びに管理棟を全面改築。また、結核病棟を休止する。

昭和56年4月
結核病棟を廃止する。

昭和56年10月

創立30周年記念式典を実施する。

昭和59年6月

泌尿器科を新設する。

昭和62年4月

整形外科を新設する。

昭和63年1月

脳神経外科を新設する。

平成2年3月

新東陽病院の建設が決まり起工式を迎える。

熱心な医療姿勢に感謝感激



木戸 博さん

私は突然の発熱と「黄だん」で、東陽病院に入院しました。検査の結果、胆管に石がつまったのが原因で

あることがわかり、石を摘出することにになりました。先生は、摘出の方法を三通り説明してくれ、私の場合は「腹中において胆管を切開し、石を外す（ト方法）でやってみましょう。」と、自信に充ちたお話しでした。私は入院以来、先生の医

療姿勢に心から敬服していたため、すべて先生にまかせることにしました。手術は麻酔もかけずに行われ、その間、胆管内の石が鮮明にテレビに映像されるなか、胆管を切除して石を取り出すことに成功しました。この時、先生は「こんなに早く終わったのはじめてで大成功でした。」と言

と、先生方と看護婦さんが一体となつての熱心な医療姿勢に、私はただただ感謝感激するだけでした。この甲斐あって私は3日後、元の健康体に回復し、退院することになりました。

新病院の充実と発展に期待

東陽病院に対する世評はきびしく、近隣の病院を利用している者も少なくないようです。この東陽病院がさらに充実して、平成3年5月に生まれかわるということですが、地域の医療機関として発展していただきたいと思